

地域・防災だより

第63号 2023 年 9 月

天嶽院下自治会・自主防災会
(作成協力)防災協カグループ

御幣下公園(自治会 一時避難場所)に防火水槽を設置へ

消火用の水の確保は重要です。皆さんは、その為の「消火栓」や「防火水槽」が道路、及び公園等に設置されていることをご存知でしょうか。弥勒寺一帯は、付近に大きな川の流れもなく、かつ住宅密集地として、消火時に「水」をどこから確保するかという問題があり、「御幣下公園」に設置する計画が出ています。設置は令和6年度中の予定ですが、“60トン(通常40トン)の防火水槽”を公園の地中に埋設するものです。工事の詳細がわかりましたら、改めてお知らせします。



夏休み公園ラジオ体操に子どもたちも元気に参加

御幣下公園で例年7・8月下旬実施している「夏休みラジオ体操会」は、今年は子ども会も参加し、コロナ禍前の様に賑やかなラジオ体操会(写真)となりました。一方、赤坂公園では7・8月末の各一週間、今年もプラウドマンション自治会主催の「夏休みラジオ体操会」が親子参加で実施され、公園周辺の大人・子供たちも参加しました。

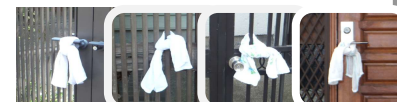


自治会、今年の「防災フェスタ」を開催(8月19日・土)

早朝の安否確認訓練(8～9時 タオル掛け)は各家庭で、その後の防災訓練(10～11時30分)は御幣下公園で行われました。

安否確認訓練の結果は、参加251世帯(全世帯:533)で安否確認率は47.1%となり、昨年の46.3%から若干上回りました。

防災訓練は御幣下公園で実施、①起震車による震度体験、②水消火器訓練、③応急処置・AED訓練、④ロープワーク訓練、が夫々行なわれ、参加した自治会役員はじめ一般会員は、家族と共に熱心に各訓練を体験していました。また新防災倉庫では、防災器具・物品



の点検と、大型の新自家発電機の稼働訓練も行なわれました。例年にない猛暑、自然災害の多発するこの地球環境の現状の中、私たち自主防災会の地域防災への取組みは益々重要になっています。

防災キャンペーン(家庭備蓄)

藤沢も含まれる南海トラフ巨大地震対策では、事前防災を重視し家庭での備蓄を1週間以上と呼び掛けています。従来3日分以上と言われてきましたが、指定避難所の藤ヶ岡中学校は、藤沢市が一定の備蓄を備え、かつ自治会(自主防災会)も若干の防災機材と、水や非常食の備蓄を行っていますが、充分ではありません。このため各家庭での食料・水、カセットコンロ、簡易トイレ、乾電池などの備蓄を最低でも1週間分確保して頂きたいのです。大災害時は公的支援が遅れることから、まずは「自助」が大原則であり、その上で「共助」「公助」になるのが過去の大災害からの教訓です。